
コース名：チームで参加－学生参加型授業体験－

(片野尚子)

対 象：学生に発表させる形式の授業を行いたい、周りにモデルとなるような事例がない
と考えている教官

目 標：学生が積極的に調査し、発表する形式の授業に対するイメージづくり

研修時間：2日

研修内容（研修方法）：

大学に持ち帰ったあとに、始めやすいように2～3人のチームで参加する。

- ・導入：現状報告と問題点の討議
- ・授業改善事例 デモ（ビデオ）、講義（シナリオ・原案等の解説）
- ・模擬授業テーマ「小学校特別授業」（自分の専門分野からの話題で）
- ・チームに分かれて、シナリオ、教材制作、発表準備

(デジタルメディアは使わない。手書き、実物、色々な工夫を編み出す)

- ・1日目の終わりに中間報告
- ・2日目（午前）は、各チームの発表と討議
- ・2日目（午後）は、更に練り上げて発表。

研修評価の観点：

- ・授業改善に対する予行練習
- ・学生の視点での観察

ラショナル：

学生を少人数グループに分けて、調べたことを発表させる形式の授業を行いたいと思っ
ても、いきなり授業として行うには抵抗がある。そこで自分たちが課題をする立場で動いて
みることで、起こりうる事態を予測し、どのような発表を見ても受容できる心構えができる。

備 考：

事例提供者を1名（寸劇を採り入れた発表。これをやってしまえば怖いものはない）
5チーム程度の参加者にしほり、和やかな雰囲気。
